

2025 年度業務実績報告書

提出日 令和 8 年 1 月 5 日

1. 職名・氏名 助教 井狩知幸
2. 学位 学位 博士、専門分野 看護学、授与機関 名古屋市立大学、授与年 2024 年
3. 教育活動

(1)講義・演習・実験・実習
① 担当科目名（単位数） 主たる配当年次等
・ 公衆衛生看護管理実習（2 単位） 4 年生
・ 公衆衛生看護活動展開実習（3 単位） 4 年生
・ 卒業研究（3 単位） 4 年生
・ 公衆衛生看護技術Ⅰ（1 単位） 3 年生
・ 公衆衛生看護技術Ⅱ（1 単位） 3 年生
・ 公衆衛生看護技術Ⅲ（1 単位） 3 年生
② 内容・ねらい
・ 地域診断を通して地域特性と健康課題を把握する能力を養い、保健所実習を通して保健所内 や管内市町の関係機関との連携・調整、他職種と協働しながら展開されている公衆衛生看護 活動の実際を理解する。
・ 地域で生活している人々の健康課題に対する理解を深め、市町保健センター実習を通して個 人・家族・集団・地域全体を対象とする市町保健師の公衆衛生看護活動の実際を理解する。
・ 医療・健康に関する現象について研究課題を明確にしたうえで、研究のプロセスを理解し、 論文を作成する。
・ 地域診断に必要な情報を収集し、地域の特性と健康指標をアセスメントした結果に基づいて 健康課題を明らかにする能力を養う。
・ 地域で生活する個人・家族を支援するために必要な知識・技術と方法、態度を養う。
・ 地域で生活するグループ・集団を支援するために必要な知識・技術と方法、態度を養う。
③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫
・ 実習では学生が様々な事業を経験できるように、実習指導者と密に連携を取りながら日程を 調整した
・ 卒業研究では学生が選んだテーマで主体的に取り組めるよう、研究のプロセスを教授し、適 時助言した。
・ 公衆衛生看護技術では、個人・家族への支援方法としての家庭訪問と幼児健康診査に必要な 知識・技術、態度は演習を通して教授し、集団への支援方法としての健康教育の展開過程は 演習を通して教授した。
(2)その他の教育活動
内容

4. 研究業績

(1)研究業績の公表	
① 著書	【0 本】
② 学術論文（査読あり）	【0 本】
③ その他論文（査読なし）	【0 本】
④学会発表等 *1. 多発性硬化症患者の心理的なストレスの軽減に寄与する関連要因の探究、難病支援学術コンソーシアム、2025 年 11 月、井狩知幸，斎田孝彦，藤井ちひろ，近藤誉之，安東由佳子	【1 件】
⑤その他の公表実績	【0 本】
(2)科研費等の競争的資金獲得実績	
【学外】 ・ 科学研究費助成事業（若手研究） 研究代表者「多発性硬化症患者におけるセルフマネジメントプログラムの有用性の検証」	
(3)特許等取得	
(4)学会活動等	

5. 地域・社会貢献活動

- ・鯖江市健康づくり推進協議会委員 2025 年 8 月～現在に至る
- ・福井県看護協会 学会委員 2025 年 4 月～現在に至る
- ・福井県内病院看護研究指導 2025 年 4 月～現在に至る
- ・全国多発性硬化症視神経脊髄炎友の会 関西支部 副支部長 2023 年 4 月～現在に至る
- ・令和 7 年度開放講義（模擬授業）「難病保健活動」丹生高校 2025 年 12 月 11 日

6. 大学運営への参画

(1)補職

(2)委員会・チーム活動

- ・フィンドレー大学交流 WG メンバー
- ・実習検討委員会 委員

(3)学内行事への参加

(4)その他、自発的活動など